

# 映 画 上 映 会

## 『皇太子裕仁・欧州訪問映画』

(1921年)から考える

# メディアと皇室

開催日：2020年2月22日



2019年度は改元の年にあたり、天皇制への関心が高まった年でした。これを機会に、日本で皇族が初めて本格的にスクリーンに登場した映画である「皇太子裕仁・欧州訪問映画」の上映会を開催します。この映画は、皇太子裕仁（のちの昭和天皇）の欧州訪問を活写した映画であり、当時、社会に絶大なる反響をもたらしたにも関わらず、現在ではあまり知られていません。「大衆天皇制」の始点としても重要であり、現在の天皇制とメディアを考えるうえでも貴重な映画です。

地域住民をはじめ一般の方々、学生、教職員などすべての人に開かれたイベントです（入場無料）。皇室とメディアの関係を研究する森暢平教授の解説が付きまます。

2020年2月22日(土)13:00～15:30

(開 場 12時 30分)

上映作品：『皇太子渡欧映画 総集篇』〔仮題〕(松竹キネマ合名社製作 1921年白黒 76分)

『東宮殿下御外遊實況 大正十年』(1921年白黒 ブルーレイ 8分)

両作品とも、国立映画アーカイブ所蔵

場 所：成城大学7号館723教室

協 力：国立映画アーカイブ

※申込不要・入場無料

【お問合せ】

成城大学文芸学部共用研究室

TEL 03-3482-9412

